春日井こども発達支援センターてくてく

# 保護者向け よくある質問(Q&A)

「子どもの発達が少し気になる」
「療育について知りたい」

そんな保護者の方へ、てくてくの利用や支援についてまとめました。

## 見学・相談からでも大丈夫です。

受給者証がまだなくても、見学やご相談ができます。

この Q&A では、8 つのテーマに分けてご案内しています。


1 児童発達支援・受給者証について

2 アクセス・利用環境について

3 対象年齢・利用について

4 療育内容・プログラムについて

5 専門スタッフ・支援体制について

6 ご家族への支援・相談・交流について

7 園・医療機関・地域との連携について

8 見学・利用開始・その他について

# 1　児童発達支援・受給者証について

### Q01. 児童発達支援とは、どのようなサービスですか？

A　発達に不安や遅れのあるお子さま（0 歳～年長児）を対象に、日常生活に必要な力や集団生活に適応する力を育むための支援・療育を行う福祉サービスです。てくてくでは、遊びやさまざまな活動を通して、お子さま一人ひとりの発達に合わせた支援を行っています。

### Q02. 発達障害と診断されていなくても利用できますか？

A　はい、ご利用いただけます。医師による診断がなくても、1 歳 6 か月児健診・3 歳児健診などで療育の必要性が認められ、障害児通所受給者証が交付されれば、ご利用いただけます。

### Q03. 受給者証がなくても、見学や相談はできますか？

A　はい、できます。受給者証がなくても、まずは見学やご相談をいただけます。利用を検討されてから、受給者証の申請手続きを進めていただくこともできます。

### Q04.「受給者証」とは何ですか？ 医療受給者証や障害者手帳とは違いますか？

A　てくてくの利用に必要となるのは「障害児通所受給者証（通所受給者証）」です。医療費助成に使う医療受給者証や障害者手帳とは異なり、児童発達支援などの福祉サービスを利用するために必要な証明書です。

### Q05. 受給者証はどこで申請すればいいですか？

A　お住まいの市区町村の担当窓口で申請します。春日井市の場合は、障がい福祉課が窓口となります。詳しい手続きについては、てくてくでもご案内しますので、お気軽にご相談ください。

### Q06. 利用料はいくらかかりますか？

A　満 3 歳になって初めて迎える 4 月 1 日から小学校入学前までの 3 年間は、児童発達支援の利用料が無償化されています。0～2 歳児は、世帯の所得に応じて自己負担があります。

### Q07. 利用開始までにどれくらいの期間がかかりますか？

A　見学・相談、受給者証の申請・発行、利用契約などの手続きを経て利用開始となります。おおむね 1 か月程度を目安としていますが、手続きの状況や空き状況によって異なりますので、まずはお問い合わせください。

## 2　アクセス・利用環境について

### Q08. てくてくはどこにありますか？

A　春日井市藤山台 1-1 にある「グルッポふじとう（高蔵寺まなびと交流センター）」の 3 階にあります。

### Q09. 駐車場はありますか？料金はかかりますか？

A　はい、あります。グルッポふじとうの駐車場（正面・裏側・北部駐車場）が利用でき、約 120 台分の駐車スペースがあります。駐車料金は無料です。

### Q10. 公共交通機関で行くことはできますか？

A　はい、バスをご利用いただけます。JR 高蔵寺駅からは名鉄バス、かすがいシティバス、サンマルシェ循環バスなどがあります。「グルッポふじとう北」「藤山台」「藤山台東」などのバス停から徒歩圏内です。

### Q11. 送迎サービスはありますか？

A　送迎サービスは行っておりません。保護者の方による送迎、または親子での通所をお願いしています。

### Q12. 施設内はどのような環境ですか？

A　日当たりがよく、展望にも恵まれた明るく開放的な環境です。お子さまの年齢や活動内容に合わせた部屋や、専門的な支援を行うための個別スペースを備えています。

### Q13. 療育中、保護者が待てる場所はありますか？

A　はい、あります。グルッポふじとう館内には、図書館やカフェ、休憩スペースなどがあります。単独通所のお子さまの療育中などに、館内でお待ちいただくこともできます。

## 3　対象年齢・利用について

### Q14. 何歳から何歳まで利用できますか？

A　生後 8 か月頃から、小学校入学前の 3 月（年長児の年度末）までのお子さまを対象としています。お子さまの発達や状況に応じて、利用開始時期をご相談いただけます。

### Q15. まだ歩けないなど、運動発達がゆっくりな子どもも通えますか？

A　はい、ご利用いただけます。お子さまの身体の発達や運動面の状況を把握し、一人ひとりの発達段階に合わせた活動や支援を行います。

### Q16. 言葉が遅い、まだ言葉が出ていないことが気になります。対応してもらえますか？

A　はい、ご相談いただけます。言葉の発達やコミュニケーションに不安のあるお子さまも多く利用されています。言語聴覚士（ST）をはじめ、専門スタッフがチームで、お子さまの「伝えたい」という気持ちを大切にしながら支援します。

### Q17. 落ち着きがない、集団行動が苦手な子どもでも大丈夫ですか？

A　はい、ご利用いただけます。小集団での遊びや活動を通して、お子さま自身が安心できる環境を整えながら、集団の中での過ごし方や人との関わり方を少しずつ経験していきます。

### Q18. 保育園や幼稚園に通いながら利用できますか？

A　はい、ご利用いただけます。保育園や幼稚園での生活と「てくてく」での療育を組み合わせながら、お子さまの発達や生活を支えていきます。

### Q19. 医療的ケア児や重度の障害がある子どもも利用できますか？

A　お子さまの状態や必要な支援、受け入れ体制などを確認したうえで、ご相談をお受けしています。まずはお子さまの状況をお聞かせください。

## 4 療育内容・プログラムについて

### Q20. てくてくでは、どのような療育を行っていますか？

A 「からだの基礎をつくる」「コミュニケーションをはぐくむ」「身の回りのことを身につける」ことを支援の柱としています。遊びやさまざまな活動を通して、お子さま一人ひとりの発達や興味に合わせた小集団療育を行っています。

### Q21. 具体的には、どのような活動をしますか？

A 運動遊び、感覚遊び、製作、絵本、手遊び、音楽活動など、さまざまな遊びや活動を行います。また、手洗いや着替えなど、身の回りのことや日常生活動作についても、経験を積んでいきます。

### Q22.親子通所はありますか？

A はい、あります。主に年少未満のお子さまは、親子通所となります。お子さまの発達が目まぐるしく、子育てに大変さを感じやすい時期に、保護者の方と一緒に通い、親子で遊ぶことや、お子さまへの関わり方を一緒に考えていきます。お子さまの「できた！」や「楽しい！」を一緒に見つけながら、保護者の方が安心して子育てできるよう、お子さまの育ちと子育てを一緒に支えていきます。

### Q23.単独通所はありますか？

A はい、あります。主に年少以上のお子さまは、単独通所となります。保護者の方に送迎していただき、お子さまはスタッフやお友達と一緒に過ごします。集団生活の中でさまざまな経験を積みながら、人との関わりや遊びを楽しみ、自分でできることを少しずつ増やしていきます。

### Q24. 1 回の利用時間はどのくらいですか？ 保育園や幼稚園との両立はできますか？

A 開所時間は、年少未満クラス（親子通所）は午前 9:00～13:00、年少以上クラス（単独通所）午後 14:00～18:00 です。保育園・幼稚園等に通いながら、てくてくを併用して利用することもできます。午後の通所は、保育園・幼稚園の通常の保育時間に大きく支障のない時間帯に設定しています。

### Q25. 週に何回通えますか？

A 午前の親子通所は週 1～3 回程度、午後の単独通所は週 1～2 回程度です。お子さまの発達や支援の必要性、受給者証の支給量、空き状況などを踏まえて、一緒に利用スケジュールを考えていきます。

### Q26. 昼食（給食）はありますか？

A 午前の年少未満クラスでは給食を提供しています。活動後にみんなで昼食を食べてから、ご自宅へ帰ります。

### Q27. 個別療育は受けられますか？

A 小集団療育を主軸としていますが、専門スタッフ（作業療法士・言語聴覚士）による個別セラピーも実施しています。実施頻度は、お子さま一人につき年 1 回程度です。実施後には、発達の状態やご家庭での関わり方についてお手紙を作成し、保護者の方へフィードバックします。

### Q28. 専門的なプログラムはありますか？

A はい、あります。通常の療育プログラムに加え、**音楽療法や運動活動**を実施しています。また、**作業療法士（OT）や言語聴覚士（ST）による個別支援**も行っています。お子さまの発達の状況や、子育ての中で感じている困りごとに合わせて支援を行っています。気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

## 5　専門スタッフ・支援体制について

### Q29. どのような専門スタッフがいますか？

A　保育士、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）など、発達に関する専門的な知識を持つスタッフが在籍しています。それぞれの専門性を生かしながら、スタッフ同士が連携してお子さまを支援します。

### Q30. 作業療法士（OT）は、どのような支援をしてくれますか？

A　身体の動かし方、手先の使い方、スプーンやハサミの操作、着替えなどの身辺自立に関することなど、お子さまの生活や遊びに関する困りごとについて専門的に支援します。「やってみたい」というお子さまの気持ちを大切にしながら、身体や感覚の発達を促していきます。

### Q31. 言語聴覚士（ST）は、どのような支援をしてくれますか？

A　言葉の発達、発音、言葉の理解、コミュニケーションなどについて専門的に支援します。お子さまの「伝えたい」「わかってほしい」という気持ちを大切にしながら、人とのやりとりやコミュニケーションの広がりを支援します。

### Q32. 子どものその日の様子は、どのように教えてもらえますか？

A　療育終了後に、スタッフから直接保護者の方へお伝えします。活動中のお子さまの様子や、できたこと、頑張ったこと、スタッフが工夫したことなどを共有します。

### Q33. スタッフはどのくらい配置されていますか？

A　お子さまの安全を確保するとともに、一人ひとりに丁寧な支援を行えるよう、法令上の基準を上回るスタッフ配置を行っています。

## 6 ご家族への支援・相談・交流について

### Q34. 利用中に、子育ての悩みや家庭での関わり方を相談できますか？

A はい、いつでもご相談いただけます。日々の子育ての悩みや、お子さまとの関わり方について、スタッフがお話を伺い、一緒に考えていきます。

### Q35. まだてくてくを利用していなくても、発達相談はできますか？

A はい、利用前のお子さまを対象とした発達相談を行っています。「発達が少し気になる」「言葉がなかなか出ない」「集団生活が心配」など、気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

### Q36. 小さい子ども向けの「親子教室」はありますか？

A はい、おおむね 3 歳までのお子さまを対象に「親子教室」を開催しています。遊びを楽しみながら、お子さまの発達を見つめたり、子育てについて相談したりできる場です。

### Q37. 「親子教室ぽこ」とは、具体的にどのような場所ですか？

A てくてくを利用していない方を対象とした教室です。親子で遊びながら、お子さまの成長を見つめ、子育てや発達について気軽に相談できる場です。「こんなとき、どう関わればいい？」「発達が少し気になる……」といった疑問や不安について、専門スタッフと一緒に考えることができます。

### Q38. 保護者同士で交流できる機会はありますか？

A はい、「てくてくの会」という保護者会を開催しています。同じような悩みや経験を持つ保護者の方同士で、子育ての工夫や日頃気になっていることを話したり、情報交換をしたりできる交流の場です。

### Q39. 下の子を連れて見学や親子通所に参加できますか？

A はい、下のお子さまを連れての見学・参加も可能です。安心して一緒にお越しください。ご不安な点がある場合は、事前にご相談ください。

### Q40. 父親や祖父母が通所に付き添うことはできますか？

A はい、もちろん可能です。お父さまや祖父母の方にも、お子さまの成長や療育の様子を一緒に見ていただけます。ご家族みなさんでお子さまの育ちを支えていけるよう、ご家族からのご相談も大切にしています。

### Q41. 家庭でできる関わり方のヒントも教えてもらえますか？

A はい、お伝えしています。療育の中で見られたお子さまの姿をもとに、ご家庭でできる声かけや遊び方、環境づくりなどについてお伝えします。「できるようにする」だけでなく、ご家庭でも無理なく取り組める方法を一緒に考えていきます。

# 7 園・医療機関・地域との連携について

### Q42.「保育所等訪問支援」とは何ですか？ てくてくでも利用できますか？

A はい、てくてくでも実施しています。保育園・幼稚園・認定こども園・学校など、お子さまが普段生活している場所へ支援員が訪問し、集団生活での様子を見ながら、先生方と一緒にお子さまが過ごしやすい環境や関わり方を考える支援です。ただし、児童発達支援の利用とは別に申請が必要です。

### Q43. 通っている保育園や幼稚園の先生と情報共有してもらえますか？

A はい、情報共有・連携を行います。保護者の方のご希望に応じて、園の先生方と情報共有を行います。「てくてく」での様子を園と共有したり、園での困りごとについて一緒に考えたりしながら、お子さまが安心して過ごせる環境づくりを支援します。

### Q44. 小学校への就学に向けた相談や支援はありますか？

A はい、行っています。就学に向けて、お子さまの発達や生活の様子を一緒に振り返りながら、進学先や就学相談について考えていきます。必要に応じて、学校へお子さまのことを伝えるためのサポートシートの作成なども行い、安心して就学を迎えられるよう支援します。

### Q45. 医療機関や他の療育事業所と併用・連携できますか？

A はい、できます。主治医や相談支援専門員、他の療育事業所などと、必要に応じて情報共有・連携を行います。お子さまを取り巻く支援者がそれぞれの専門性を生かしながら連携し、よりよい支援につなげていきます。

## 8　見学・利用開始・その他について

### Q46. 見学や体験には予約が必要ですか？

A　はい、事前の予約をお願いしています。まずはお電話等でお気軽にお問い合わせください。

### Q47. 見学には子どもも一緒に行った方がいいですか？

A　はい、お子さまと一緒にお越しいただくことをおすすめしています。実際の場所や雰囲気をお子さまにも見ていただき、てくてくでどのように過ごせそうか、一緒に考えることができます。

### Q48. 見学では、どのようなことをしますか？

A　施設や活動の様子をご覧いただき、お子さまの発達や普段の生活についてお話を伺います。「何が気になっているのか」「どんなことに困っているのか」などをお聞きし、てくてくでできる支援についてご説明します。

### Q49. 開所曜日や休業日はいつですか？ 土曜日も利用できますか？

A　月曜日から土曜日まで開所しています。日曜日・祝日、年末年始等は休業です。土曜日もサービスを提供していますが、開所日は月2日です。

### Q50. 急なお休みや体調不良の場合は、どうすればいいですか？

A　当日の朝、規定の時間までに電話または指定の連絡方法でご連絡ください。お子さまの体調を第一に考え、無理のない通所をお願いしています。

### Q51. アレルギー対応はしていますか？

A　給食を提供していますが、現在、アレルギー対応は行っておりません。アレルギーのあるお子さまについては、事前にご相談ください。

### Q52. 発達検査(新版 K 式など)は、てくてくで受けられますか？

A　お子さまの発達や状態を把握するためのアセスメントは、必要に応じて行っています。新版 K 式発達検査などの公的な発達検査については、必要に応じて医療機関等をご案内します。

### Q53. 利用途中で曜日や利用回数を変更できますか？

A　はい、ご相談いただけます。受給者証の支給量や空き状況などを確認しながら、利用曜日や回数の見直しを行います。

### Q54. 途中で退所・休所することはできますか？

A　はい、できます。ご家庭の事情や保育園・幼稚園での生活、お子さまの成長や状況の変化などに合わせて、ご相談いただけます。

### Q55. 問い合わせ・見学申し込みは、どこに連絡すればいいですか？

A　TEL：0568-37-2933 へご連絡ください。こちらは、まちスウィングの事務窓口の電話番号です。春日井こども発達支援センターてくてくへおつなぎいたします。

# お問い合わせ・見学のお申し込み

「子どもの発達が少し気になる」

「療育について知りたい」

「まずは話を聞いてみたい」

どのような段階でも、お気軽にご相談ください。

社会福祉法人まちスウィング　春日井こども発達支援センター てくてく

〒487-0035　愛知県春日井市藤山台 1-1　グルッポふじとう 3F

TEL：0568-37-2933（まちスウィング事務窓口）

※掲載している利用条件・開所日・料金等は、制度や施設の運用変更により変わる場合があります。